

あおもりの今、そして未来を見つめて挑戦。  
 その意欲こそが財たからであり、新たな青森の価値を創る。  
 社会で力強く生きていく、たくましい子どもたちの育成。地域経済や地域づくりの先頭に立って挑戦していくリーダーの育成や女性の人財育成。そして、郷土に愛着と誇りを持つチャレンジ精神あふれる人づくり。青森のための青森ならではの「人財育成」とは…。



なりたい自分になる。  
 「キャリア教育」で将来の道が見えてきた。

立六ヶ所高等学校の教室に入ると、「こんにちはー」と明るい笑顔で出迎えてくれたのは、3年生の濱辺美月さんと野田あかねさん。同校は、「明日へはばたけあおもりっ子キャリア教育推進事業」の指定校の一つ。同じく指定校となっている村内の小・中学校や、大学・地域と連携した多彩

な取組が評価を受け、平成24年度キャリア教育優良学校文部科学大臣賞を受賞しています。

そんな六ヶ所高校に通う2人でも、「キャリア教育」という言葉は、高校に入学して初めて知りました。村内企業22社が集まった「村内企業研究会」では、実際に働いている方から

業務内容や仕事のやりがいなどについて説明を受けたそうです。「強く心に残っているのは、『働かされるのではない』という言葉。そう思うのは自分にとっても企業にとっても損、主体的な姿勢で働くことが大切なんだと話してくれました。『自分から積極的に話しかけて、コミュニケーションを取ることが大事だと感じました。』と2人。地域で働く人たちの生の声にふれ、「地元で働きたい」という思いを強くしたようです。実際に職場を体験するインターンシ



ップにも参加。野田さんは「保育園を訪ねた時、園児の健康と衛生面を気遣って何度も掃除をする保育士さんたちの姿が感動的でした」と。表面的なイメージだけでは知ることのできない、現場の臨場感と影の努力。子どもたちの命を預かるプロの責任感にふれた瞬間だったと語ってくれました。  
 昨年度9回開催された「国際理解講演会」では、国際的に活躍する研究者や国際交流員等を講師に招き、働く意義や生き方について学びました。濱辺さんは、「講師の方たちのチャレンジ精神旺盛な生き方や、夢に向かって一生懸命努力する姿に刺激を受けました。私ももっと積極的に挑戦していきたいです」。

「教育支援プラットフォーム」では「学校教育サポーター」を募集しています

県教育委員会では、学校と地域の企業・NPO等を結ぶ仕組みである「教育支援プラットフォーム」の構築に取り組んでいます。

学校の教育活動、子どもたちのキャリア教育を支援することが可能な企業・NPO等の登録を進め、「我が社は学校教育サポーター」として、ホームページ等で紹介しています。

我が社は学校教育サポーター

生涯学習課 電話 017-734-9888  
 総合社会教育センター 電話 017-739-1270



企業による教育活動例  
 住友化学三沢工場による科学教室  
 (三沢市立おおぞら小学校3年生)



◎登録いただいた企業・NPO等には、ステッカーを配付しています。  
 ◎登録企業は随時募集していますので、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。